

県文連ふくおか

題字／貫 正義

令和7年9月

77号



福岡県文化団体連合会

表紙の光景

文化芸術を満喫して

天神ビッグバンを彷彿とさせる高層ビルの林立。そこにゾウ、キリン、シマウマ、フラミンゴと、わが物顔に野生の動物たち。

ふくおか県芸術文化祭2025 オープニングフェスのポスターを見た瞬間、友人の迷？言「人間動物園」を思い出した。彼の所属部署がそうだとする。奇人変人も交じって強烈な個性の集まりで、よく言えば多士済々。いや、鳥台の衆かな、とも。

トランプさんの登場で世界が何やら様変わりしたな、と思っていたら、日本社会も先の参院選で激動。実に多種多様な人々が共存する社会なのだ、改めて気づかされた。わが福岡県もむろん、例外ではあり得ない。そんな多様性あふれる県民の、すべての皆さんに、文化芸術の楽しさ、素晴らしさを満喫してもらおうと、この秋、ふくおか県芸術文化祭が繰り広げられる。県文連は、その主導的役割を担う。

文化芸術を通して「心豊かな生活と活力ある地域社会」づくりを謳って、装いも新たにスタートだ。いきおい、ポスターにも力が入った。

もくじ

● 令和7年度県文連新体制	3	● 久山町文化協会創立30周年記念式典	14
● 令和7年度定例理事会	4	● 大川文化協会設立60周年記念コンサート	14
● 県文連交流会	5	● 第63回北九州芸術祭	15
● 「ふくおか県芸術文化祭2025」	6	● バレエフェスティバル2025	15
● 県文連会員団体イベント開催予定一覧	7	● FUKUOKA オーケストラフェスティバル	15
● 学校等芸術家派遣事業	8	● シニア美術展	16
● 詩	9	● アジア美術家連盟日本委員会展	16
● 俳句	10	● 直方谷尾美術館では澤清一展	16
● 短歌	11	● 〔訃報〕県文連顧問 井生定巳さん、 長澤幸司さん、河村哲夫さん	17
● 県民ふるさと文化講座	12	● 令和7年度九州・沖縄文化団体協議会	18
● 古代の対外交流を探る 「福岡よかバス」で現地探訪	12	● 福岡文化連盟「藝術舞台」	18
● 県民文化大学特別講座 正田啓佑先生が登場	13	● 県文連新春のつどいお知らせ	18
● ふるさと文化誌第13号 『大牟田まち物語』市に寄贈	13	● 吉塚だより	19

令和7年度 県文連新体制

県文連執行体制 (令和7年度)

役 職	氏 名
名誉会長	はつ 服 部 誠 太 郎
会 長	ぬき 貫 正 義
理 事 長	う だ 川 宣 人
副 会 長	お 大 野 弘
〃	い し 石 川 純 一
〃	う 浦 田 智 子
副理事長	は や し 林 だ 田 ス マ
専務理事 兼事務局長	や ま 山 北 智 子
常任理事	お 大 田 精 一 郎
〃	お 大 野 弘
〃	や 八 尋 汕 子
〃	や ま 山 口 志 郎
〃	の み や 野 見 山 弘 子
〃	う ち 内 野 博 夫
〃	の 野 口 都 子
〃	よ し 吉 田 宏 司
〃	し ん 進 雅 彦
〃	い し 石 川 純 一
〃	の 笠 井 栄 俊
〃	お 小 田 幸 久
〃	た 田 島 安 江
〃	か た 片 山 健 一
〃	か 梶 山 禪 徹
〃	き の 木 下 隆 信
〃	こ 古 賀 透
監 事	た か 高 瀬 昭 登
〃	さ 米 村 旭 翔
〃	い 市 村 智 子
〃	まつ 松 崎 栄 一
参 与	い 井 原 絹 江
〃	や ま 山 村 子 子
〃	え 江 崎 雅 彦
調 査 役	た け 竹 川 克 幸
顧 問	まつ 松 尾 新 吾
〃	こ 是 澤 清 一

※太字は新任。



大野 弘 さん



大田 精一郎 さん



八尋 汕子 さん



野口 都子 さん



進 雅彦 さん



山北 智子 さん

6月13日、福岡市の博多サ
ンヒルズホテルで開いた定例
理事会で、副会長1人と常任
理事5人の交代が承認さ
れ、令和7年度の県文連新体
制が決まった。

副会長は、前北九州文化連
盟会長の田中正直さんの退任
に伴い、後任に同じく北九州
文化連盟会長の大野弘さんが
就任した。

専務理事兼
事務局長に山北さん
事務局も新体制
令和7年3月21日に開いた
令和6年度第2回常任理事会
で、県商工部観光局長の山北
で、県商工部観光局長の山北

智子さんの県文連専務理事兼
事務局長就任を承認した。山
北さんは4月1日に着任した。
令和2年4月から5年間に
わたり専務理事兼事務局長を
務めた江崎雅彦さんは任期満
了で退任、県文連参与に就任
した。江崎さんは、常任理事
会で「就任時はコロナ禍の最
中だったが、県文連創立30周
年記念誌の発行など、皆さん
の協力を得て任を全うするこ
とができました」と謝辞を述
べた。

副会長に大野さん 常任理事5人が交代

常任理事では、5地域別団
体で県文連理事やブロック協
議会会長の交代があったた
め、次の通り新任者5人が決
まった。

▽北九州市＝大野弘北九州文
化連盟会長（前任者は田中
正直北九州文化連盟前会長）
▽福岡市＝大田精一郎福岡文
化連盟専務理事事務局長
（前任者は北里晋福岡文化
連盟前専務理事事務局長）
▽福岡市＝大田精一郎福岡文
化連盟専務理事事務局長
（前任者は北里晋福岡文化
連盟前専務理事事務局長）
▽京築ブロック＝進雅彦行橋市
文化協会会長（前任者は高
尾康子吉富町文化協会会長）
▽南筑後ブロック＝野口都子
大木町文化協会会長（前任
者は木下修二大川文化協会
会長）

令和7年度定例理事会

事業計画、予算案など承認

令和7年度の県文化団体連合会定例理事会は6月13日、博多サンヒルズホテル瑞雲の間で約80人が出席して開かれ、新たな執行部体制や事業計画、予算案などを承認した。

冒頭、宇田川宣人理事長があいさつに立ち、5月と6月に逝去した顧問の井生定巳さんと長澤幸司さんに出席者全員で黙とうを捧げた。議長を務めた眞正義会長は「昨年度に新たなスタートを切った、ふくおか県

芸術文化祭は県内38市町村で125の事業を実施し、34万人を超える参加者があった。県文連会員の皆さんの熱意に心より感謝します」と述べた。

第1号議案は会員の異動。特別個人会員は、太宰府観光協会理事の松谷正徳さん、県文連専務理事兼事務局長を務めた江崎雅彦さんが加入した。一方、本山道徳さん（令和6年11月逝去）、松尾節朗さん（同12月逝去）、長澤幸司さん（令和7年6月逝去）が退会した。特別個人会員は前年度から1人減の47人となった。賛助会員として、株式会社かさの家（太宰府市）が加入した。

第2号議案は役員の選任で、大野弘副会長のほか5常任理事の新任が承認された。（3ページに詳報）

第3号議案は令和6年度の事業と決算の報告で事務局からの説明が承



新特別個人会員の松谷さん(左)と江崎さん

認された。リニューアルした「ふくおか県芸術文化祭2024」などの報告が主な内容だった。同芸術文化祭の県文連主管事業は、分野別事業（12事業、18,501人参加）、地域別事業（9事業、10,875人参加）、受託事業・学校等芸術家派遣事業（県内33の小・中学校などで開催、3,063人参加）だった。

令和7年度の事業計画案と予算案が第4号議案で、いずれも承認された。事業計画では前年度に新たなスタートを切った「ふくおか県芸術文化祭」がさらに盛り上がるように取



り組むとして、学校等芸術家派遣事業を前年同様に実施し、県文連加盟団体が担当する分野別・地域別事業もこれまで通り開催する。県民ふろさと文化講座や現地探訪、県民文化大学特別講座などを開催するほか、「ふるさと文化誌」編さん事業として『春日まち物語（仮題）』を発行する。予算（一般会計）は総額3563万5千円を計上している。

福岡県の担当者から「ふくおか県芸術文化祭2025」についての報告があった。

県文連交流会

和やかに懇談、ホルンの演奏も

県文化団体連合会の令和7年度交流会は6月13日、定例理事会に続いて博多サンヒルズホテル瑞雲の間で開かれ、理事や特別個人会員ら76人が参加した。

石川純一副会長が開会のことを述べた。貫正義会長は「新たな取り組みだった昨年度のふくおか県芸術文化祭では、県文連の皆さんも日ごろの取り組みの成果を披露していただいた。今年も皆さんの活躍を期待しています。交流会は短い時間ですが、楽しいひとときを過ごしていただきたい」とあいさつした。

この後、高木和敏さんが主宰する



宇田川理事長 乾杯の音頭



ホルンカルテットのミニコンサート

ホルンカルテットのミニコンサートがあり「菩提樹」などの曲が披露された。芸術家派遣事業で子どもたちに音楽の楽しさを教えているという高木さんは、ホルンの成り立ちなどについても説明した。最後は地元の民謡「黒田節」を演奏した。

乾杯の音頭は、宇田川宣人理事長がとった。懇談の時間に移って、10のテーブルを囲んだ出席者はコース料理を楽しみながら歓談し交流を深めた。

会場のステージでは、カラオケも始まり、福岡県美術協会理事長（当時）の小田部黄太さん、県文連調査役の竹川克幸さん、桂川町文化連合会会長の堀井敏男さんらが自慢ののどを次々に披露した。

最後は、閉会のことを林田スマ副理事長が述べ、福岡県吟詩舞道総連盟の笠井栄俊さんらによって恒例の博多祝い唄が歌われ、手一本で締めくくった。

アトラクション

【ホルンミニコンサート】

▽高木和敏氏が主宰するホルンカルテット「カラオケ」

▽香の会松島徹会長、県美術協会小田部黄太理事長、県文連調査役竹川克幸さん、太宰府市文化協会高瀬昭登さん、桂川町文化連合会堀井敏男会長、県吟詩舞道総連盟辻重霊さん、志免町文化協会山田忠政会長、古賀市文化協会吉田義徳会長

【博多祝い唄】

▽県吟詩舞道総連盟笠井英俊会長、同連盟吉丸華城さん、辻重霊さん

【博多手一本】

県吟詩舞道総連盟笠井英俊会長



県美術協会の小田部理事長



香の会の松島会長



閉会を告げる林田副理事長



博多手一本

「ふくおか県芸術文化祭2025」開催

県民文化祭からリニューアルされた「ふくおか県芸術文化祭」が2年目を迎え10月から12月の間に開催される。今回は、9月21日にJR博多駅前広場で、プレイベントを開催し、オープニングフェス及び芸術文化祭のPRを行い、開幕前の機運醸成を図る。

オープニングフェスでは、芸術文化祭の開幕を県民にアピールするとともに、多彩な文化芸術に触れる機会を提供するため、10月4・5日開催のメイン会場（天神中央公園・アクロス福岡アトリウム）や10月11日のサテライト会場（イオンモール大牟田）でステージイベントやブース展示などを実施する。

開催される事業は、昨年同様▽次代を担う子ども文化芸術鑑賞・体験事業▽地域文化芸術創造事業▽伝統芸能魅力発信事業などがある。

今回は、分野別フェスティバルに、

「第74回福岡三曲協会 箏、三絃、尺八秋季演奏大会」が加わり、13事業となり、地域別フェスティバルの9

事業とともに、鍛練を重ねた芸能

と地域の特色ある文化を披露する。

これらの事業に、県主催事業や参加事業を含めて昨年度以上の盛り上

がりが期待される。

また、今年度からロゴマークを作成し活用することとなった。

ロゴマーク誕生

「ふくおか県芸術文化祭」の認知度を高め開催事業の一体感を創出しようと「みて、きいて、さわって、文化芸術の秋を五感で楽しもう」という思いを込めて、芸術文化祭を象徴するロゴマークが誕生した。

今年1月、県内の法人、個人を対象に企画案を公募。デザイン20点の応募があった。デザイン分野の専門家や、昨年度のオープニングフェスの企画・運営に携わった学生ら5人の選定委員会の審査を経て、決定した。

「文化芸術の秋を五感で楽しもう」というコンセプトで、五感のうち創造の源である視覚（目）、聴覚（耳）、触覚（手）をモチーフに、躍動感のあるデザインとした。

また色は、「福岡県の花「梅」と、県の鳥「ウグイス」をイメージするピンクと緑を使っている。

みて、きいて、さわって。
文化芸術の秋を
五感で楽しもう。



ふくおか県芸術文化祭
Fukuoka Arts and Culture Festival



県文連会員団体イベント開催予定一覧



事業区分	事業名	開催日	開催地	会場
分野別事業 13	合 唱	第31回ヴォーカルアンサンブル・フェスティバル	10月12日(日)	飯塚市 イイヅカコスモスコモン中ホール
	太 鼓	福岡県和太鼓フェスティバル	12月21日(日)	朝倉市 ピーポート甘木
	吟剣詩舞	吟剣詩舞フェスティバル	10月19日(日)	筑紫野市 筑紫野市生涯学習センター
	俳句	俳句大会	11月19日(水)	福岡市 ホテルニューオータニ博多
	短歌	短歌大会	10月26日(日)	春日市 クローバープラザ
	茶会	第33回県民茶会	11月16日(日)	糸島市 国登録有形文化財「梶島家住宅」
	筑前琵琶	第74回筑前琵琶鑑賞会	11月16日(日)	福岡市 成就院
	押し花	押し花フェスティバル	10月24日(金)～26日(日)	福岡市 アクロス福岡 2 階交流ギャラリー
	中文連	第22回筑紫地区中学校総合文化祭	11月9日(日)	太宰府市 プラム・カルコア太宰府
	バレエ	第17回バレエフェスティバル	10月13日(月・祝)	那珂川市 ミリカローデン那珂川
	詩	Poetry History 福岡の詩 今昔	10月18日(土)＝福岡市、11月9日(日)＝久留米市 11月24日(月・振)＝北九州市	福岡市 久留米市 北九州市 アクロス福岡606会議室 久留米大学御井キャンパス 北九州市立文学館
	三曲	第74回福岡三曲協会 箏、三絃、尺八秋季演奏大会	10月19日(日)	福岡市 なみきスクエア
	県展	第80回福岡県美術展覧会(県展)	9月2日(火)～11月24日(月・振)	福岡市 他3市 福岡県立美術館他3会場
地域別事業 9	北九州市	「無法松の一生」演劇公演	11月22日(土)、23日(日)	北九州市 J:COM北九州芸術劇場中劇場
	福岡市	第20回福岡文化連盟祭り 藝術舞台2025	10月26日(日)	福岡市 福岡市民ホール
	福岡Iブロック	福岡 I ブロック芸術文化のつどい	10月26日(日)	久山町 レスポアール久山
	福岡IIブロック	第28回福岡IIブロック「芸術の祭典」in太宰府	10月25日(土)、26日(日)	太宰府市 プラム・カルコア太宰府
	北九州ブロック	北九州ブロック芸能のつどい	12月7日(日)	直方市 ユメニティのおがた
	北筑後ブロック	北筑後ブロック芸能祭	11月8日(土)、9日(日)	小郡市 小郡市文化会館 小郡市生涯学習センター
	南筑後ブロック	南筑後ブロック芸能フェスティバル in 八女	10月25日(土)	八女市 おりなす八女ハーモニーホール
	筑豊ブロック	ふくおかどまんなかフェスティバル	12月14日(日)	桂川町 桂川町住民センター
	京築ブロック	第26回京築ふるさと文化祭	11月22日(土)、23日(日)	行橋市 コスメイト行橋

学校等 芸術家 派遣事業



プロのアーティストを学校等に派遣して、子どもたちに真の芸術を体験させる「学校等芸術家派遣事業」は、2年目を迎えた。前身の「芸術体験講座」から21回を数え、今年は、県内の小・中学校、特別支援学校、児童養護施設、病院内の院内学級の37校等で行う。

演劇、音楽、ダンス、邦楽・伝統芸能、総合芸術のジャンルから、17のプロ集団が参加する。

学校等芸術家派遣事業は、県内で活躍するプロ芸術家の25集団・個人の登録を受け、学校側の要請に応じて派遣している。この21年間に累計555校などで実施したことになる。

市町村等	学校等名	分野	開催日	芸術団体名
北九州市	くき の う み 小	伝統芸能	9月18日(木)	山崎北山・宮本直美
	花 房 小	総合芸術	10月8日(水)	Office トゥルース
	菊 陵 中	ダンス	11月21日(金)	シン・ダンシング・ブリーズ
	河 内 小	音楽	11月20日(木)	S I O N
	藤 松 小	伝統芸能	11月27日(木)	和楽団ジャパンマーベラス
	花 尾 小	伝統芸能	12月1日(月)	福岡大蔵会
	戸 畑 中 央 小	伝統芸能	12月9日(火)	福岡大蔵会
	青 山 小	音楽	12月16日(火)	ふれあいコンサート実行委員会
福岡市	萩 原 小	音楽	12月16日(火)	ふれあいコンサート実行委員会
	日 佐 小	伝統芸能	9月8日(月)	福岡市能楽協議会
	東 光 中	音楽	10月6日(月)	パーカッションアンサンブルよか音
久留米市	長 尾 小	音楽	11月25日(火)	パーカッションアンサンブルよか音
	日 吉 小	伝統芸能	10月31日(金)	(公社)日本舞踊協会福岡県支部
	江 上 小	伝統芸能	11月26日(水)	福岡大蔵会
八女市	小 森 野 小	総合芸術	12月11日(木)	Office トゥルース
大川市	三 河 小	伝統芸能	10月31日(金)	和楽団ジャパンマーベラス
大野城市	木 室 小	伝統芸能	11月6日(木)	和楽団ジャパンマーベラス
嘉麻市	下 大 利 小	伝統芸能	10月16日(木)	和楽ユニット風絃
糸島市	熊 ケ 畑 小	総合芸術	11月26日(水)	Office トゥルース
筑前町	志摩中学校姫島分校	音楽	10月3日(金)	ミュージック コンソート
大刀洗町	夜 須 中	音楽	11月5日(水)	福岡ホルンアンサンブル
添田町	大 刀 洗 小	ダンス	10月10日(金)	福岡県ダンススポーツ連盟
大任町	添 田 中	伝統芸能	10月15日(水)	山崎北山・宮本直美
築上町	今 任 小	音楽	10月29日(水)	ミュージック コンソート
県立	葛 城 小	音楽	12月18日(木)	S I O N
	筑 後 特 別 支 援	音楽	12月11日(木)	九州打楽器合奏団
北九州市立	築 城 特 別 支 援	音楽	12月12日(金)	ふれあいコンサート実行委員会
	八 幡 特 別 支 援	音楽	11月10日(月)	パーカッションアンサンブルよか音
福岡市立	東 福 岡 特 別 支 援	音楽	10月1日(水)	九州打楽器合奏団
	南 福 岡 特 別 支 援	音楽	11月4日(火)	九州打楽器合奏団
児童養護施設	若 葉 荘	演劇	9月13日(土)	劇団さんぽ
	報 恩 母 の 家	総合芸術	9月21日(日)	Office トゥルース
	白 梅 学 園	総合芸術	10月19日(日)	Office トゥルース
	双 葉 学 園 みのり	演劇	11月1日(土)	結実企画
院内学級	久 留 米 天 使 園	演劇	11月1日(土)	劇団さんぽ
	九 州 大 学 病 院	音楽	9月17日(水)	S I O N
	久 留 米 大 学 病 院	音楽	9月19日(金)	九州打楽器合奏団

(注)開催日は、変更になる場合があります。

詩

ハナミズキ

降戸 輝

木陰で胸像が惘然としている
銘板の文章は誰が記したのか
人々から親しまれ尊敬されたという人物は
半世紀の間
ずっと唇を引き締めて
今も街を見つめている

青銅製の頭の上の赤い実は
鳥のイタズラなのか
風の祈りなのか
木洩れ日を細かに反射している
指先を蛇口の水ですすぎ
つまんでハンカチに包んだ

ビル群の上空を
清らかな白い軌道が走っていく
胸像の傍らに座り
友人からもらったばかりの本を開くと
遠く忘れていた言葉を見つけ
マーカーを引く

葬列

サラ・カイリイ

蟬がなきはじめたから眠りましょう
醒めたあたまにやけに喧しい音色です
小さなシンバルを鈴を
足もとにくくりつけた小鬼が
夜の公園を駆けているのでしょうか
夢と現のあわいにいるあなたが
ゆつくりと寝返りをうちます

あれは蟬だよ
日が昇ればじきに眠る
夜のあいだ饗宴を張る
死骸のような いくつもの抜け殻が
道の端につつましく転がつて
背面にびりりと入った亀裂は
どれも迷いがなかった
ないでなくてしんでしまふ
ポストの下に 蟬がひっくり返っていました
すでに蟻は行列をなしていました…
あなた もう寝たのでしょうか
わたしはまだ蟬の声に
夢を奪われている

造反の庭

大土由美

高名な庭師の完璧な設えの
老舗旅館の日本庭園
本格的な茶室すらある
瓢箪池のそばの
枝振りの見事な黒松の下
苔むした雪見灯籠
そのひとひろもある笠の上

ちぎれたばかりのフラミンゴの首が
血を流し
の字に肅然と置かれている
明朝大雪降るといい



俳句

「青嶺」主宰 岸原清行

「青嶺」は平成十三年、「地平」継承。師系は野見山朱鳥、児玉南草。岸原は現在、県俳句協会顧問、(社)俳人協会名誉会員。

鯉 幟

鯉 幟 戦 後 八 十 年 の 空
只 今 と し き り 声 挙 ぐ 時 鳥
大 茅 の 輪 潜 り 千 歳 の 杉 仰 ぐ

「玄海」主宰 大石靖子

「玄海」は平成六年、小島隆保が博多で創刊。師系は高濱虚子、高濱年尾、稲畑汀子、稲畑廣太郎、花鳥諷詠の理念を現代の視点で問い続ける。平成二十八年三代目主宰となる。

あちさる

あちさるのまだ色を決めかねてゐる
人 生 の 一 齣 の いろ 額 の 花
あちさるは変化す現し世は輪廻

「光円」主宰 服部たか子

「光円」は「円」終刊を継ぎ平成二十年七月、田代朝子の下に創刊。二十七年主宰交代。師系は岡部六弥太。自然と人の交響を詠む。

あの辺り

時 雨 る る や 橙 色 の 本 屋 の 灯
時 雨 虹 掛 か る と す れ ば あ の 辺 り
首 あ げ ね ば 冬 青 空 は 見 え ない よ

「さわらび」主宰 介弘紀子

昭和二十二年、川上朴史が大牟田で創刊。平成三十年第四代主宰となる。師系は、稲畑汀子、稲畑廣太郎。客観写生、花鳥諷詠を理念とする。(公・社)日本伝統俳句協会理事。

蟬 捕り

蟬 捕 り の 凱 旋 網 を 高 く し て
喪 心 に つ か ず 離 れ ず 梅 雨 の 蝶
生 も 死 も 気 軽 に 語 り ゐ る 端 居

「自鳴鐘」主宰 寺井谷子

「自鳴鐘」は、昭和十二年横山白虹により創刊、二十三年に復刊。平成十九年横山房子逝去により主宰継承。現代俳句協会特別顧問。

萩の庭

夕 影 の 一 光 と ど く 萩 の 花
夕 影 を 負 い 白 萩 の な お 白 し
父 愛 で し 大 樹 の 影 や 秋 暑 し

「天籟通信」代表 福本弘明

昭和四十年、穴井太が北九州市で創刊。高く遊ぶことを旨とし、自由で個性豊かな集団を目指す月刊同人誌。現代俳句協会副会長を務める。

野 武 士

青 信 号 い く つ 渡 れ ば 紅 葉 山
拳 手 の 手 が 秋 天 を 向 く 参 観 日
露 地 物 の 南 瓜 野 武 士 の 面 構 え

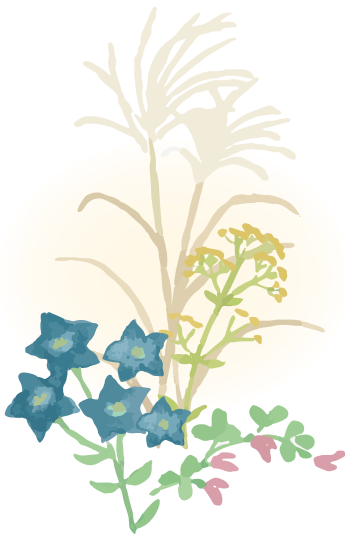
「冬野」主宰 持永真理子

「冬野」は、大正十二年創刊。令和三年二月、五代目の主宰継承。師系・高濱虚子、高濱年尾、稲畑汀子、稲畑廣太郎、花鳥諷詠を信条に面白みのある句を目指したい。

団 扇

小 屋 番 の 漢 二 人 や 腰 団 扇
浜 風 を 待 ち て 団 扇 を 手 ば な せ ず
激 辛 の 屋 台 料 理 や 洪 団 扇

【俳誌名五十音順】



短歌

これまでのジグザグの道これからの一本の道 ああ夕焼けだ
空中にちよつと留まって我を見て考えたのち飛び去るトンボ

内藤 賢司
「歩行」

カササギの高きだみ声聞こえてた屋敷木立は跡形もなし
街なかの小さな緑に生きてゐたカササギ親子白く羽ばたく

中村 仁彦
「コスモス」

久々に幼なじみの文の来て孫なきことを悔やみ書きいる
島の家は開け放たれて人^{ひと}気なし軒の伸し蛸風に揺れいる

渡邊 和子
「若竹」

「形」とう一枚の絵葉書頂きしよりの二十年我等が二十年
参道に勢いて低き薔蘭の一葉一葉の照り美しき

河野 幸子
「八雁」

ボルシチの種類多かりウクライナのブーツ入るを確かめて買う
三年経てまた椿咲くボルシチのウクライナ風かみしめ食す

松本千恵乃
「未来」

(ウクライナ侵攻より三年経つ二月)

9月から後半スタート 県民ふるさと文化講座

「われらが街を知る ふるさとはいかにして成ったか」を年間テーマにした県文連の令和7年度県民ふるさと文化講座は、9月18日から後半に入る。

9月の「小倉城と城下町の歴史」を皮切りに、江戸時代の大牟田、秋月と甘木、直方の各地域に焦点を当て、講師がそれぞれの地域の歴史や文化などについて語る。令和8年1月から3月までは未定。

会場はアクロス福岡2階セミナー室で、毎月第3木曜日の午後1時半～3時。受講料は1回千円。定員は60人、先着順。申し込みは県文連事務局へ。

電話
092(643) 2875
ファクス
092(643) 2876

令和7年度 県民ふるさと文化講座 ～われらが街を知る ふるさとはいかにして成ったか～

日程	テーマ	講師
9月18日(木)	「小倉城と城下町の歴史」	北九州市自然史・歴史博物館 学芸員 守友 隆
10月16日(木)	「大牟田 三池藩の成立と展開」	三池カルタ・歴史資料館 館長 梶原 伸介
11月20日(木)	「筑前の小京都 城下町秋月と商都甘木」	日本経済大学経済学部 教授 竹川 克幸
12月18日(木)	「直方 忽然と成立したニュータウン」	直方郷土研究会 会長 牛嶋 英俊

* 状況により日程・内容は、変更する場合があります。その際には、事前にご連絡いたします。

○会場 アクロス福岡2階セミナー室 ○時間 13:30～15:00 ○受講料 1,000円

古代の対外交流を探る

「福岡よかバス」で現地探訪

令和7年度の県文連の現地探訪は「赤司善彦氏と行く古代の対外交流を探る旅」と題して10月17日と30日の両日、日帰りで行実施する。今回は福岡県観光局と連携し、県内をバスで周遊する「福岡よかバス」を活用して巡る。

主なコースは、古代の外交施設だった鴻臚館跡展示館（福岡市中央区）―博多湾や志賀島を望む西公園（同区）―かつて「西の都」と呼ばれた大宰府政庁跡（太宰府市）―大宰府展示館（同）―九州国立博物館・太宰府天満宮（同）。現地や車中で、大野城心ふるさと館館長で九州国立博物館名誉館員の赤司さんが解説する。昼食は、グランドエンパイアホテル（大野城市）。

両日とも午前9時、JR博多駅前を出発、午後5時半ごろ同駅到着。参加費は1人1万8000円（昼食代、九州国立博物館などの入館料含む）。問い合わせ・申し込みは第一観光株式会社 092(271) 0044。



県民文化大学特別講座

疋田啓佑先生が登壇

「現代に生きる陽明学」を講義



疋田啓佑 先生

7月17日、アクロス福岡
研修室で行った令和7年度
県民文化大学特別講座に福
岡女子大名誉教授の疋田啓
佑先生が登壇、「現代に生
きる陽明学」を講義した。

陽明学は、中国・明代の儒者、王陽明（1472～1528）の思想。知行合一説、致良知説がその根幹をなし、政治家、財界人、文学者など現代日本にも根付いている。

疋田先生は、孔子、孟子から王陽明に至る思想の系譜や、朱子学との対比などに触れながら、王陽明の著作『伝習録』を抄出して解説した。

疋田先生は、今年3月まで15年間にわたって、県民大学の講師として儒学や中国古典の通年講座を担当、県文連会員にはなじみが深い。

今回の特別講座でも、永年、先生の講座で学んできた受講生の姿が目立った。

テキストの末尾に「私の好きな王陽明の言葉」として「人生大病、只是一傲字」が記されていた。驕ることなく、どこまでも謙虚に生き抜く、という先生の座右の銘は、受講生に贈る言葉でもある。

ふるさと文化誌第13号

『大牟田まち物語』市に寄贈

県文連は、3月に発行した『大牟田まち物語』250部を大牟田市に寄贈、5月12日、同誌編集委員会の古賀透副会長らが市役所を訪れ、関孝市長に差し上げた。

『大牟田まち物語』は、県文連が2012年度から刊行している「ふるさと文化誌」シリーズの13号目。

「燃える石の発見」に始まる石炭産業とともに発展してきた町・大牟田。三池炭鉱関連の遺構群は、2015年に「明治日本の産業革命遺産」として世界文化遺産に登録された。

カルタや押し花文化発祥の地という、意外な顔の紹介も含め、新たな文化都市・大牟田が「やさしさ」とエネルギーあふれるまちに脱皮していく姿を描き出している。

三池史談会の大城美知信会長、市立三池カルタ・歴史資料館の梶原伸介館長や市の職員らが執筆している。

寄贈を受けた関市長は「昔のことだけでなく新しいことも書かれている。市民が、自分のまちをよく知る活動に活かしたい」と述べた。市内の小中学校や公民館、市立図書館など

どに配布する方針。

贈呈式には、県文連の山北智子専務理事兼事務局長、玉城勝則事業部長、大牟田文化連合会の小柳和孝会長も同席した。贈呈式の模様は、地元紙の『有明新報』5月14日付けで報じられた。

『大牟田まち物語』は定価600円。県文化団体連合会事務局（電092・643・2875）で販売中。



関市長（左）に贈る古賀副会長

ふるさと文化誌 第14号 「春日まち物語」（仮題）

令和8年3月発行予定

久山町文化協会 創立30周年記念式典

令和7年4月19日、久山町文化協会創立30周年記念式典がレスポール久山で開催された。

子どもたちが元気いっばいに打ち鳴らす「久山響太鼓・風っ鼓」の演奏で開会した式典には、井上久美子会長ら文化協会関係者のほか、西村勝久山町長、只松秀喜久山町議会議長ら来賓や町民、約80人が出席した。

井上会長は「文化協会発足からこれまで活動を支えてこられた関係者の方々に感謝するとともに、高齢化が進む中、若い世代への伝統文化の啓発を進め、後継者育成に努めることで文化を継承していく」と挨拶した。

西村町長らの祝辞のあと、永年会員表彰が行われ、30年にわたり活動が続けてこられた日本舞踊 扇桜会（せんおうかい）の酒井信子さんをはじめ、3サークル6人に賞状と記念品が贈られた。

式典の後、福岡県文化団体連合会顧問で、歴史作家の河村哲夫氏による記念講演「糟屋郡の古代伝承―神武天皇と神功皇后―」が行われた。



来賓や表彰を受けられた皆さん



太鼓演奏によるオープニング

大川文化協会設立60周年記念コンサート

大川文化協会が設立60周年を迎え、令和7年5月24日に総会と記念コンサートを大川市文化センターで開催した。あいさつに立った木下修二会長は、60年間の感謝を述べるとともに「未来への挑戦」を今後のスローガンとして掲げた。

大川文化協会は、昭和40年に発足し、現在は木下会長のもと、45団体・506人の会員が所属している。毎年、「大川市民文化祭」や「大川市総合美術展」、隔年で「大川市芸能フェスティバル」を開催しているほか、協会の機関誌『文協おかわ』を年1回発行している。

設立60周年記念「アニバーサリーコンサート」には、春日市に駐屯している陸上自衛隊第4音楽隊が出演し「天国の島」などを演奏した。大川文化協会に所属する大川グリーンハーモニー、桐の花女声合唱団、大川児童合唱団との共演もあり「宇宙戦艦ヤマト」や「花は咲く」などの交流合唱が披露された。



交流合唱によるフィナーレ

機関誌の「文協おかわ」は、設立60周年記念誌として令和8年3月に発行する予定。
同協会では、今後の課題として若い世代の加入と加盟団体間の横の交流を挙げている。

第63回北九州芸術祭

北九州文化連盟・毎日新聞社が主催する第63回北九州芸術祭の開会式が4月2日、ウエルとばたで開かれ、同文化連盟会員や行政関係者ら132人が参加した。

開会式は、「北九州邦友会」の子ども会員による日本舞踊で始まり、北九州文化連盟の大野弘会長が「北九州はこれまで文化の薫る街として栄えてきた。これまで培ってきたものを次世代につなげるべく地域のみなさんと一緒に頑張っていきたい」と挨拶。

武内和久北九州市長、中村義雄北九州市議会議長、県文連の宇田川宣人理事長が来賓祝辞を述べたあと、昨年のねりんピック鳥取大会の受賞者表彰が行われた。エンディングでは、北九州音楽文化連盟ジュニア部門の見事なピアノ演奏が披露された。

北九州芸術祭は4月から5月までの2か月にわたり、市内各地で美術、音楽、伝統芸能など多彩なイベントが繰り広げられ、約18000人が参加した。

5月24日・25日には創立80周年を迎えた劇団青春座が246回公演「神々の憂鬱」を北九州芸術劇場中劇場で開催。「日本人にとって神とは何か」をテーマに、神の存在が薄れた日本社会にうんざりしている天照大御神をはじめ、IT系の神などが地元神社に集まり、人々の夢を叶えるために奮闘する物語。祭りの継承やハラスメントなど現代の課題を随所に取り込んだウィットに溢れたステージに観客は思わず笑ったり涙ぐんだり大いに魅了された。



「神々の憂鬱」の舞台



開会式

バレエフェスティバル2025

福岡市バレエ協会が主催する「バレエフェスティバル2025」が、8月3日、福岡市のアクロス福岡シンフォニーホールで開催された。同協会は1958年創立、アクロス福岡での公演は10回目。

第1部では5つのバレエスタジオが作品を披露。第2部では英国バーミンガムロイヤルバレエ団の元プリンシパルで、世界の第一線で活躍している佐久間奈緒さん（福岡市出身）、厚地康雄さんを迎え、中世十字軍時代の南フランスを舞台とした「ライモンダ」第3幕を福岡市バレエ協会のオリジナル演出にて上演。二人を軸に、各バレエスタジオが合同で出演した優雅で華麗なステージは観客を魅了した。福岡市バレエ協会の鶴田美佳子理事長は、「佐久間さん、厚地さんの卓越した芸術性のもと、皆が一つになってステージを作り上げる貴重な機会になった。福岡バレエ界の発展につなげたい」と言っている。



FUKUOKAオーケストラフェスティバル

福岡県オーケストラ連盟の第5回合同演奏会FUKUOKAオーケストラフェスティバルが令和8年3月21日の午後2時から、アクロス福岡シンフォニーホールで開催される。この合同演奏会は4～5年毎に開催しているが、前回はコロナ禍により中止したため、10年ぶりの開催。指揮者にNHK交響楽団正指揮者の下野竜也さんを迎え、加盟21団体からメンバーが集まり、エネルギーで豊かな感性に溢れたステージをお届けする。

曲目は、グロフエ作曲の「グランドキャニオン」組曲、R・シュトラウス作曲の「アルプス交響曲」。

入場料は、2千円。問い合わせ・申し込みは、福岡県オーケストラ連盟田中さん☎090（7454）1788



NHK交響楽団正指揮者
下野 竜也 さん

シニア美術展

ふくおか県芸術文化祭2025

2025県シニア美術展が7月15日から7日間、県立美術館で開かれ、日本画、洋画、彫刻など全7部門、416点の作品が展示された。7月18日には受賞式が行われ、優秀作品に宇田川宣人県美術協会理事長らから県知事賞（各部門最優秀）や県文化団体連合会賞などが贈られた。

シニア美術展は、県美術協会が60歳以上を対象の美術展を構想して1998年にスタート。2014年からは県と県美協共催になり、現在は、ふくおか県芸術文化祭参加事業。

なお、県美術協会は6月21日、定時総会を開き、小田部黄大理事長の退任、宇田川氏の新理事長就任を承認した。

■県知事賞、県文化団体連合会賞の受賞者（敬称略）

【県知事賞】日本画〓日野智恵子▽洋画〓又丸久▽彫刻〓田中勉▽工芸〓永島峠士之▽書〓上瀧豊▽写真〓和田敏枝▽デザイン〓澤野啓子

【県文化団体連合会賞】

日本画〓廣瀬重夫▽洋画〓羽野泰子▽書〓松浦まゆみ▽写真〓白川勉



県文連賞
羽野 泰子さんの「雪解け」

アジア美術家連盟日本委員会展

フィリピンなどから 特別出品も

第31回アジア美術家連盟日本委員会展（県文連など後援）が4月17日から22日まで、福岡市博多区の福岡アジア美術館企画ギャラリーで開かれた。

アジア美術家連盟は、アジア各国・地域の文化や歴史を尊重し、新しい現代美術の創造を目的に、各国の美術館での国際展とフォーラムを開催してきた。

今回の日本委員会展には、同委員会メンバーの絵画、版画、立体・彫刻のほか、外国

人交流会員の大作や力作、フィリピンとインド

からの特別出品など76人の多彩な作品が並んだ。

県文連理事長でアジア美術家

連盟日本委員会の代表を務める宇田川宣人さん、県文連特別個人会員の光行洋子さん、古本元治さんの絵画、県文連理事の小田部黄太さんの彫刻なども出品された。

直方谷尾美術館では澤清一展

93歳の画業を振り返る

県文連顧問の澤清一さんの画業を振り返るは澤清一展が、4月19日から6月8日まで直方市の直方谷尾美術館で開かれた。澤さんは、田川市出身で同市在住の93歳。直方谷尾美術館の創設に関わったこともあり、同展が実現した。

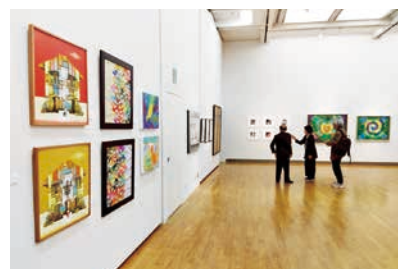
会場には、筑豊を描いた「ボタ山と炭住」や「英彦山参道冬景」のほか、エジプトやイタリアの風景画など約50点が並んだ。会期中

には澤さんによる講演会、澤さんが指導するスケッチ大会も遠賀川の水辺で催された。



是澤さん講演会

は、田川文化連盟会長や田川市美術館館長などを務めた。県文連では、副会長や副理事長などを歴任、平成26年から顧問。



訃報

この夏までの4か月間に、長年にわたって県文連の発展に尽力・貢献してくださった幹部3氏が立て続けに亡くなりました。

北九州市の市民劇団青春座で半世紀にわたって代表を務めた井生定巳さんと、大野城市の市民劇団迷子座を40年間主宰した長澤幸司さんは、県演劇界の重鎮でした。県文連ではお二人とも常任理事、副会長を務められました。

そして、3人目の歴史作家・河村哲夫さんは、2007年から5年間の専務理事兼事務局長在任中は、県文連の活性化に努められ、今日に続く活動スタイルを基礎固めしてくれた人です。3氏ともに顧問として、亡くなる日まで何かと県文連のことを心掛けてくださいました。生前のご活躍を讃え、心からご冥福をお祈りします。

合 掌

井生定巳さん

(享年85歳)



令和7年(2025)5月30日、85歳でご逝去。北九州市の劇団青春座の代表や北九州文化連盟会長を務めるなど地域の芸術・文化活動に幅広く貢献した。

県文連では平成23年(2011)から常任理事、同28年から副会長を務め、令和4年に顧問に就任した。

劇団青春座では、半世紀にわたり代表を務めた。「郷土シリーズ」社会現象を検証する「現代シリーズ」を柱に上演を続け、東京公演や海外公演も行った。

平成5年に「北九州演劇祭」を初代実行委員長として立ち上げ、翌年には日本劇作家協会北九州大会を誘致するなど、北九州演劇界の発展に尽力した。

長澤幸司さん

(享年88歳)



令和7年(2025)6月6日、88歳でご逝去。大野城市で市民劇団「迷子座」を40年間にわたり主宰、「古代山城サミット」開催に関わるなど地域の文化振興に努めた。

県文連では平成18年(2006)から常任理事、同22年から副会長を務め、同28年に顧問に就任した。

昭和60年に迷子座を結成し、地域に残された民話などを題材にした劇を上演。脚本を書き、演出も行った。

大野城市文化連盟の副会長や会長を歴任。古代山城サミットでは、同市長に開催を提案、関係自治体を巻き込んで平成22年の初開催にこぎ着けた。同21年に福岡県地域文化功労者表彰、同24年に文化庁の地域文化功労者表彰を受けた。

河村哲夫さん

(享年77歳)



令和7年(2025)8月25日、77歳でご逝去。福岡県職員を経て、平成19年(2007)から県文連専務理事兼事務局長。在任中の5年間、従来からの県民文化祭(現・県芸術文化祭)に注力するほか、県民文化大学・ふるさと文化講座、各種フォーラム・講演会、ふるさと文化誌刊行など新規事業を打ち出した。その後、参与を経て顧問。

柳川市の出身で、『立花宗茂』『柳川城炎上』『立花壹岐・もうひとつの維新史』など郷土関連の著作が多いが、神功皇后、景行天皇など記紀の世界が歴史作家・河村の真骨頂。福岡アジア文化塾代表、西日本新聞TNC文化サークル、朝日カルチャーセンターなどの講師も務め、講演や著述など精力的に活動した。

令和7年度 九州・沖縄文化団体協議会

福岡県で開催 九州国立博物館を視察

令和7年度の九州・沖縄文化団体協議会が7月10日、博多サンヒルズホテルで開かれた。

同協議会は、九州・沖縄における総合芸術文化団体の交流を図り、地方芸術文化の振興に寄与することを目的に、平成11年度に始まり、今回で24回目。各県が一堂に会して文化団体の現状や課題を議論する場として、今後はより会議機能を強化していくと、昨年度、名称を「連絡会議」から「協議会」と変更した。

各県の持ち回り開催3巡目となる今回の協議会には、各県文化団体の代表や事務局員16人が出席し、開催県である福岡県文化団体連合会の宇田川理事長が議長を務める中、財政運営健全化に向けた取り組みや、加盟団体の発表の場の確保など6つの議題について活発な意見交換がなされた。

財政運営健全化に向けた取り組みについては、各県ともコロナ禍や高齢化の影響による会員数の減少、諸物価高騰による経費増など共通の課題に直面しており、会員獲得、自主事業の見直し、事務経費の削減などに取り組んでいることが報告された。いずれの県も財源の確保及び組織体制の強化が喫緊の課題であり、行政や関係団体との連携が不可欠との認識で一致した。

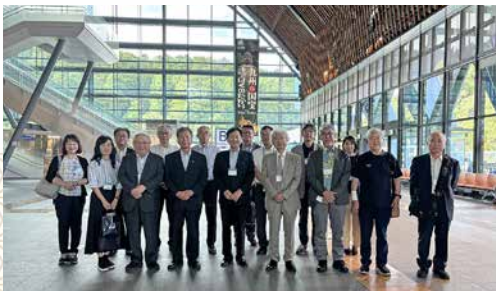
加盟団体の発表の場の確保については、特に郷土芸能に発表の場を創出することが重要との考えから、鹿児島県から他県の状況とを考えを聞きたいとして議題が提出された。行政や関連団

体とともに芸術文化祭などを主催し、地域の芸能や伝統文化公演なども含めて加盟団体の発表の場を確保している県が4県、加盟団体が各自で実施する公演などへの助成を行っている県が4県であったが、そもそも加盟団体に郷土芸能団体が入っていない県もあった。郷土芸能については、各県で担当する部署が様々であることから、鹿児島県から各県に協力を求め、後日調査を行うことで了承された。

翌11日は太宰府市の九州国立博物館を視察。富田淳館長から、今年20周年を迎える同館のコンセプトや展示の特徴、これまでの取組など説明を受けた後、山田信吾副館長の案内で館内を視察した。バックヤードでは、貴重な文化財を守るため、綿密に設計された保管庫や、高機能の免震構造、優

れた保存修復術を見学、常設展示室では、副館長の丁寧な説明のもと、日本とアジアとの交流の歴史を感じる展示品を鑑賞した。

来年度は、熊本県で開催される。



九州国立博物館のエントランスで

福岡文化連盟

「芸術舞台」

スペシャル版

「博多っ子純情番外編」

福岡文化連盟は10月26日、福岡市民ホールで「芸術舞台2025」を開催する。昭和100年、文連創立60周年などにちなむスペシャル版で、演目は「博多100年、博多っ子純情番外編（仮題）。人気漫画『博多っ子純情』の作者長谷川法世さんが監修する。ふくおか県芸術文化祭2025参加事業。

県文連

「新春のつどい」

お知らせ

令和8年1月29日(木) 17時～
西鉄ソラリアホテル
「北斗の間」

吉塚だより

「陝西省から合同観光セミナーの打診がきていますけど、どうします？」昨年12月、スタッフからの問いかけに、「陝西省？」「省都は西安市。兵馬俑があるところですよ」

当時、私は県の観光局職員で、国内外から観光客を呼び込むことが仕事。特に海外からの誘客に直行便の有無は大きい。福岡空港と西安との初の直行便就航を機にした企画と聞き、ぜひやましよう、と、急いで準備し、3月下旬の午後、福岡のホテル、旅行会社関係者と西安に向かった。

始皇帝、シルクロード、遣唐使など、中国の歴史を思い出しながら約4時間のフライトの後、到着した西安市は、高層ビルが立ち並ぶ大都会。かつて長安と呼ばれた中国王朝の都市は今や人口約1300万人、中国西北地方の政治、経済の中心地だ。

しかし、どこことなく街に洗練された雰囲気があり、西安市長の「歴史遺産を活かした国際文化都市としての発展を目指し、地下鉄や公園などインフラ整備を進めている」との説明に、なるほどと納得した。

翌日、華麗な中国古典舞踊で始

悠久の文化都市 西安への旅

まった観光セミナーには、陝西省文化観光庁長官ら幹部が出席、メディアも多数集まり、現地の関心の高さが窺えた。日中約30社が参加した商談会では、情報交換が盛んに行われ、団体の宿泊予約が入った企業もあり、今後も商談が継続することを願いつつ、翌早朝、西安を発った。

短い滞在であったが、兵馬俑や街を囲む見事な城壁などを実際に見て、中国の広大さ、歴史文化の厚みを感じた。これまでは文化行政に縁がなく、4月から県文連で仕事をする直前の西安出張には、文化をしつかり勉強しなさいとの暗示でもあったのかと思う。福岡は古代から中国大陸との経済・文化などの交流拠点として発展してきた。その歴史を踏まえながら、現代の文化芸術、地域の文化活動などを学び、会員団体はじめ関係の方々の協力をいただきながら、福岡県の文化振興のお役に立ちたいと願う。

余談だが、帰国は上海経由便を利用。乗換に伴う待ち時間に加え、出発遅延もあり約12時間かかった。やはり直行便の有無は大きい。（山北）

福岡県文化団体連合会

平成4年（1992）11月、県内で活動する地域別の文化団体67、分野別25の計92団体が参加して結成。16年秋には、県と協力して第19回国民文化祭ふくおか2004（愛称「とびうめ国文祭」）を推進、大成功を収めた。創立以来、県芸術文化祭（旧 県民文化祭）を開催するほか、県民文化大学講座など独自の文化企画を展開している。現在は地域別63団体、分野別23団体、特別個人会員47名が加盟。末端会員は推定20万人。

県文連ふくおか 77号

発行 令和7年9月

福岡県文化団体連合会

専務理事 山北 智子

広報編集委員 古賀 透、木下 良弘

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50

TEL 092 (643) 2875

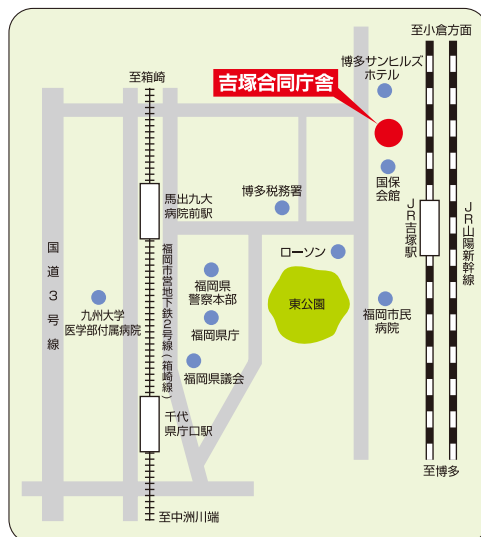
FAX 092 (643) 2876

印刷 川本印刷株式会社

〒812-0888 福岡市博多区板付二丁目5-20

TEL 092 (591) 5110

FAX 092 (591) 5113





ふくおかの文化をはつらつと

福岡県文化団体連合会

Fukuoka Prefecture Cultural Group Federation



ホームページは「県文連」で検索

県文連



賛助会員の紹介

企業 団体会員

- (公財)アクロス福岡
- アジア美術家連盟 日本委員会
- 飯塚信用金庫
- 一番食品(株)
- 英進館(株)
- (株)エルテックス・ヨシダ
- (有)海鳥社
- (株)かさの家
- 九州電力(株)
- (公財)九州交響楽団
- (株)九電工
- (株)Q T net
- 久留米運送(株)
- (公財)末永文化振興財団
- 西部ガスホールディングス(株)
- (株)如水庵
- 人生史サークル黄檗の会
- 蝶屋(株)
- (学)中村産業学園 九州産業大学
- (株)西日本シティ銀行

個人会員

- 西日本鉄道(株)
- 西日本プラント工業(株)
- 日本経済大学 地域連携センター
- (公財)日本習字教育財団
- (株)日本旅行九州法人営業部
- (株)ひよ子
- (株)ピアノターミナル・ナカムラ
- 福岡県教育庁部課長会
- 福岡県教育庁参事・補佐会
- (株)福岡銀行
- 福岡県信用保証協会
- ふくおかアジア文化塾
- (株)福岡こどもクラブ
- (NPO)文化ボランティア
- とびうめの会
- (株)山口油屋福太郎
- 王寺陽一郎・岡 征二・唐川茂樹
- (50音順)

賛助会員の募集

福岡県文化団体連合会では、福岡県の文化振興並びに文化活動を側面から支援していただく企業及び個人の賛助会員（企業・団体1口：1万円、個人1口：5千円）を募集しています。この機会に、賛助会員として加入していただき、新たな県民文化創造へ継続的にご支援、ご参加くださいますようお願いいたします。

賛助会員に
対する特典

- 1 会報「県文連ふくおか」の送付(年2回)
- 2 会報とホームページへの賛助会員の掲載と紹介
- 3 その他、県文連主催行事、関係情報の提供

〈加入方法〉

福岡県文化団体連合会事務局

TEL.092-643-2875に連絡ください。

追って手続き書類をお送りしますのでよろしくお願いいたします。